

令和7年度 岡南こども園 組織評価資料

令和8年3月

1. 本園の教育及び保育の目標

- いのちの尊さに気づかせ、他へ思いやり、感謝の気持ちを育てる。
- 心身ともに健やかな活動ができる環境を整え、自ら進んで取り組み、個性を発揮できる生活を提供する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画を基に設定した園評価の具体的な評価項目や計画

- 「自己目標・テーマ設定シート」(自由記述)、「自己評価チェックリスト」(確認項目への評価と自身の気づきの記入)による自己評価
- [重点目標]
- ・教育・保育の基本(認定こども園教育・保育要領)と園の理念・方針の十分な理解と実践
 - ・ひとりひとりの子どもの発達の理解
 - ・環境作り～心地よい生活の場の提供
 - ・子どもたちの育ちの過程の保護者との共通理解
 - ・課題の話し合いと見直しや改善への努力、更なる協働性の構築

3. 自己評価の実施状況 / 評価項目の達成及び取り組み状況

評価実施日	令和8年2月27日(金)	評価方法	「自己評価チェックリスト」による 中間評価：9月30日、年度末評価：2月27日
-------	--------------	------	--

	具体的な評価項目	評価	取り組み状況
1	基本項目 (「教育・保育の基本と園の理念・方針の理解と実践」等)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園の理念や方針にもとづいた指導計画の立案が進んでいる。 ・課題を認識し、改善によく努めている。
2	子どもとのかかわり (「ひとりひとりの子どもの発達の理解」等)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの思いやサインなどの心の動きを理解するよう努力している。 ・食に対する配慮を十分に行い、楽しい給食やおやつになるよう雰囲気作りを行っている。 ・地域の人や高齢者と親しむ機会が少ない。 ・子どもの作品を大切にし、工夫して飾っている。 ・言葉を大切にして指導し、読み聞かせの時には言葉の楽しさなどが伝わるよう配慮をしている。
3	保育環境 (「環境作り～心地よい生活の場の提供」等)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・常に公平で温かい態度や言葉遣いで子どもに接し、信頼関係を築くよう努力している。 ・子どものひとりひとりが安心して過ごせる環境作りを心がけている。 ・子どもの動線を考え遊具や用具を配置している。 ・園外保育での公共機関の利用が十分行えていない。
4	保護者とのかかわり (「子どもたちの育ちの過程の保護者との共通理解」等)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちをこめて挨拶や会話をしよう心がけ、思いや不安なことを話してもらえるよう努めている。 ・苦情や要望には、謙虚に話を聞いて対応している。
5	ほかの保育者とのかかわり (「課題の話し合いと見直しや改善への努力、更なる協働性の構築」等)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・報告や連絡、相談を心がけるとともに、互いに言葉を素直な気持ちで受け入れている。 ・子育て支援や地域連携について、話し合いが足りない。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 施設関係者評価の実施状況

評価者	岡南小学校長、父母の会役員（8名）		
評価実施日	令和8年3月17日(火)	評価方法	「自己評価報告書」についての協議・意見交換

5. 施設関係者による評価（上記 3. の自己評価結果に関する評価）及び意見の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・教育保育参観以外に、子どもの園での素の姿を見る機会を設けてほしい。それが子どもへの一層の理解を深めることにつながる。 ・保護者や地域の関係者との連携を深めるために、園内の日常のちょっとした活動に来園参加の声をかける、お誘いする、協力を依頼するというソフトな関係を、年間をとおして何回か設けてみたらどうか。（近隣の散歩や、事前にコース近隣の保護者に声かけをすることもよい。） ・園外保育での公共交通機関の利用した園外保育では、例えば電車で長岡駅まで行き「米百俵プレイス ミライエ長岡」（互尊文庫（絵本）など併設あり）などの公共施設を活用してはどうか。 ・保護者に対する声かけは、気になることがあった時ではなく、子どもが頑張った、成長が見られた時こそ行うことが大切だ。
--

6. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	子どもと地域等との関わり	子どもが地域の人や高齢者と親しむ機会をより多く作り、いろいろな人との関わりを大切にする。
2	心地よい生活の場、保育環境作り	より遊びを楽しめるような部屋の環境を作る。 公共交通機関を利用した園外保育を増やす。
3	子育て支援や地域連携のあり方	子育て支援や地域連携を一層充実させるための検討の機会を増やす。

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全に十分配慮した上で、これまで以上に園の活動を保護者や地域に紹介し、関わりを深めていきたい。 ・子どもの気づき・発見を促すような環境作りに努め、子どもが遊びの中でしたいことをできるように一層工夫していきたい。 ・令和8年度から当園で「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」を開始することに併せて、地域の子育て支援を一層充実させるために、園職員全体で一層の意識の向上と知識及び技能の習得を図りたい。

7. 自己評価の結果・施設関係者評価の結果の公表の状況

公表時期	令和8年4月末頃	公表方法	園 HP で公開
------	----------	------	----------